



入中だより

令和7年4月7日（月）
No1 熊野市立入鹿中学校
<http://www.kumano-city.ed.jp/jsiruka/>



令和7年度がスタート！

4月7日(月)に始業式、8日(火)は入学式を挙行し、5名の新入生を迎えます。
教職員の転出は教頭先生のみでした。新たに小屋敷先生が教頭として赴任されます。
今年度の本校の生徒は1年5名、2年1名、3年6名、全校生徒12名です。
全職員一丸となって子どもたちの成長を支援します。1年間どうぞよろしくお願いします。



転 出			転 入		
職 名	名 前	転出先	職 名	名 前	前任校
教 頭	村松 篤盛	伊賀市立 大山田中学校	教 頭	小屋敷 真毅	熊野市立 飛鳥中学校

令和7年度 チーム入鹿中

職名・担当	名 前	担当内容	部活動
校 長	山本 時生		
教 頭	小屋敷 真毅	1年数学	
1年担任	今町 海登	理 科	ソフトテニス
2年担任	木村 由佳	英 語	文化部
3年担任	崎本 和也	国 語	ソフトテニス
ふれあい教室担任	下川 竜平	保健体育等	ソフトテニス
3年副担任	楠 卓也	社会・美術	文化部
ふれあい教室副担任	山本 福士	保健体育	
1・2年副担任	山本 哲哉	2・3年数学 技術・家庭	
養 護	下村 克子	保健全般	
事 務	山本 佳奈	事務全般	
非常勤講師	若山 桂子	音 楽	
給食調理員兼校務員	濱田 愛	給食調理・校務	
学校業務支援員	扇谷 麻紀	学校業務全般	
スクールサポートスタッフ	久保真由美	学校業務全般	

チーム入鹿中とチーム学校

「教育は一人でするものではない」若い頃、何でも一人でやっけてしまおうとしていた私に、当時の校長が教えてくれたことです。学校にはたくさんの職員がいます。一人ひとりに個性があり長所も様々です。多くの職員が協力し教育することで、より良い学校教育が実現できると思います。これをチーム入鹿中と呼ぶことにします。

また、子どもたちは家庭でも地域でも、社会からも学びます。学校だけで教育をしているわけではありません。学校外の方々や学校が連携しチームとなって教育すること、これがチーム学校です。

どちらも「協力して育てる」という概念は共通しています。入鹿中と家庭がチーム学校としてしっかり協力し、連携した教育ができるように1年間しっかりと学校の取組や情報を発信していきたいと考えています。

学校経営方針を一新しました！ご一読ください！

令和7年度学校経営方針を新たに策定しました。今の子どもたちの現状から、学校教育目標や目指す姿、学校の取り組み方等を示す基本理念などを職員一同議論し、昨年までのものから大きく改定いたしました。本校教育の教科書となるべきものです。子どもたちにどのように成長してほしいか、そのために**本校教育で大切にすべきこと**は何か、どのように教育を進めるのか等を定めています。一部ではありますが、紙面に掲載いたします。ご家庭においても、本校学校経営方針をご理解いただくとともに、連携して取り組んでいただけると幸いです。

学校教育目標 「豊かな人間性と未来を切り拓く力を育む」

豊かな人間性とは、差別や偏見を許さない人権感覚を土台として、優しさや思いやり、倫理観、正義感や向上心等の道徳心など、生徒に身につけてほしい人間らしさをあらわしています。

未来を切り拓く力とは、情報化やグローバル化が加速度的に進展する社会において、子どもたち一人ひとりがその変化と主体的に向き合い、自らの可能性を発揮し、多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となるために必要な様々な力をあらわしています。

I 目指す姿

- 学校像 : 一人ひとりが大切にされ、心身の安全・安心が守られている学校
変化する社会状況に対応した次世代を生き抜くための力が身につく学校
生徒・教職員・保護者・地域にとって魅力的な学校
地域から学び、地域貢献し、地域文化の中心を担う学校
保護者や地域から信頼される学校
- 生徒像 : 自他の生命と人権を大切にし、思いやりのある生徒
意欲をもって主体的、協働的に学ぶ生徒
自己実現を目指し、挑戦し続ける生徒
- 教職員像 : 教育に対して使命感と情熱をもつ教職員
豊かな人間性と高い倫理観、鋭い人権感覚をもつ教職員
創意工夫し協力して組織的に教育活動を行う教職員

II 学校経営の基本理念

全ての教育活動で「一人ひとりを大切にする教育」と「人と人をつなぐ教育」を実践する。

- 1 子どもたちにとって安心・安全な学校づくりを最優先に取り組む。
- 2 自己肯定感を育むとともに、自らの成長を実感できる学校づくりに取り組む。
- 3 お互いを尊重しあい、人権感覚あふれる学校づくりに取り組む
- 4 教職員一人ひとりの個性をいかしながら、組織としての力をいかすことのできる学校づくりに取り組む。
- 5 保護者・地域との連携を密にした、開かれた学校づくりに取り組む。
- 6 授業をはじめとした教育活動が創意工夫され、明日もここで学びたいと思えるような魅力的な学校づくりに取り組む。
- 7 少人数の利点を生かした教育を実践するとともに、少人数であるが故の課題に対して、職員一丸となって改善に向けて取り組む。